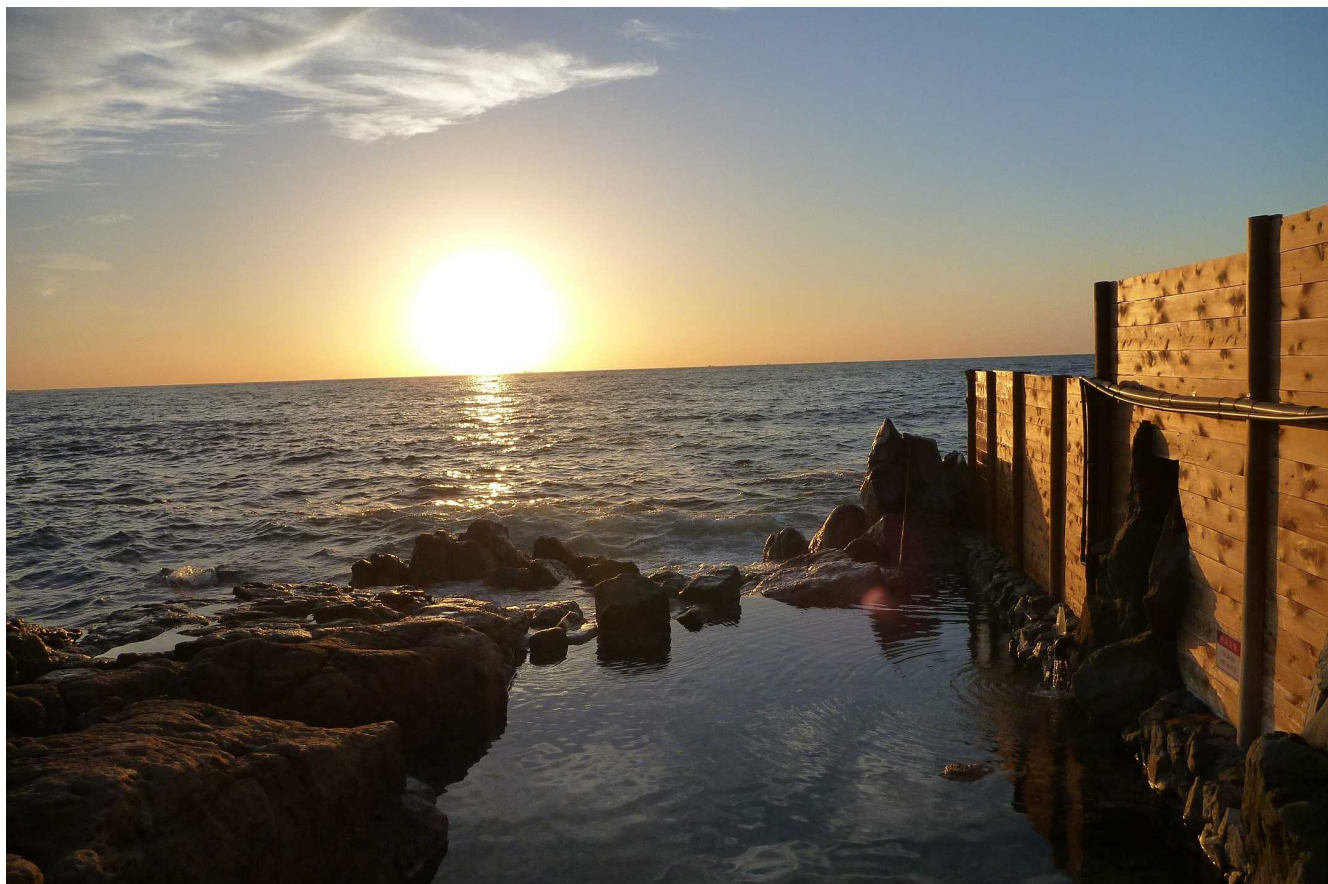


和歌山だより

平成28年12月号
(2016)

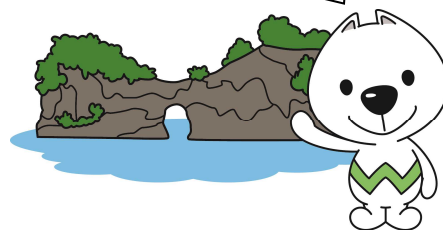


崎の湯 (白浜町)

万葉の昔から「湯崎七湯」の中で唯一残っている歴史ある湯壺で、雄大な太平洋が間近にせまる露天風呂です。湯船から海までは約10mほどなので、岩に打ち寄せる波を感じながら入浴できます。

CONTENTS

1. 知事メッセージ..... P1
2. 和歌山県政トピックス.. P2~P8
3. お知らせ..... P9~P13
4. ふるさと歳時記..... P14~P15



おもてなしトイレと汚水処理

和歌山県に来て下さる観光客の数は、外国人も含めて、全国平均よりも大きく伸びています。ありがたいことです。こういう流れをもっと広範囲に及ぼし、加速させるために、和歌山県では新たな観光のキャンペーンとして、「水の国、わかやま。」を展開しています。和歌山県は地形にも恵まれて、きれいな川や美しい海がいっぱいだから、観光客にこういう川や海で大いに楽しんでもらおうという考えです。

もちろん来られた方に快適な思いをしていただく必要がありますので、とりわけ公衆系のトイレを美しくしようと「おもてなしトイレ大作戦」を実施中です。ここ数年の努力の結果、ほとんどのトイレが温水洗浄便座付きの洋式トイレを備えたピカピカのものになりまして、あの週刊文春で絶賛をしてもらったのです。

こういう自慢すべきものの反対に、和歌山県の汚水処理人口普及率はあんまり芳しくありません。特に名を秘す他県に次ぎ下から二番目の水準です。和歌山県ではほとんどの地域で人口密集度が低く、地形が狭く急峻ですから下水が整備しにくいので、合併処理浄化槽にも活躍してもらわないといけません。そこで、その普及のための補助金は、結構手厚く用意し、かつトイレを早く直しましょうと熱心にキャンペーンを張っているのですが、なかなか進みません。このままでは「水の国、わかやま。」のイメージダウンになります。皆さん是非この際、ご家庭やお店のトイレを下水につないだり、合併処理浄化槽を入れたりしましょう。

「おもてなしトイレ大作戦」のように、この面でも、さすが和歌山は清潔で、よくやると言われるように皆で力を合わせて頑張りましょう。



11/30 知事室にて

今月の和歌山県政トピックス

* 最近の県政の動きや県内の話題などをピックアップしてお届けします。

●「世界津波の日」を初めて迎えました！

11月5日、昨年の国連総会において全会一致で制定された「世界津波の日」を初めて迎えました。

この日となったのは、本県の偉人である濱口梧陵翁が安政南海地震の際、稲むらに火をつけることにより津波から多くの命を救い、その後、私財を投じて広村堤防を築堤することで村を復旧・復興に導いた故事にちなんだものです。

この「世界津波の日」の制定を記念して、「濱口梧陵国際賞」が創設されました。この賞は、沿岸防災技術に係る国内外での啓発及び普及促進を図ることを目的として、国が創設したもので、濱口梧陵翁の名を冠した国際賞が創設されたことは、本県にとって大変喜ばしいことです。

授与式は、10月31日に東京で行われましたが、和歌山県では受賞を記念して、受賞者の東北大学名誉教授で日本大学教授の首藤伸夫（しゅとう・のぶお）氏、前アメリカ海洋大気庁（NOAA）太平洋海洋環境研究所長のエディ・バーナード氏、そして団体受賞のチリ共和国国内務省・国家緊急対策室（ONEMI）からビクトル・オレジャーナ氏をお招きして、11月2日に和歌山大学で講演会を開催しました。



濱口梧陵国際賞授与式

11月5日には、政府主催による「世界津波の日フォーラム」が東京で開催されました。その中で、仁坂知事から「津波と闘うモデルを和歌山で確立し、世界に広めていきたい」と防災対策を進めていく上での決意を表明しました。



和歌山大学での記念講演会の様子

松本純防災担当相も「地域のコミュニティが一体となり、防災対策に取り組んでいくことが大切」と訴えました。

今後も国と連携し、「世界津波の日」の趣旨を世界に発信するとともに、世界からも注目される本県の地震津波対策に万全を期していきます。

●「若き津波防災大使」高校生スタディツアーを開催！

11月25日から26日の2日間、高知県黒潮町において青少年による国際会議「世界津波の日」高校生サミット in 黒潮 が開催されました。

本サミットは、次代を担う高校生を対象に、多くの国にとって共通の課題となる地震津波の脅威や防災の知見を伝え、事前の心構えや発災時の対策、復旧・復興といった災害に関するテーマについて学習、意見交換し、防災・減災に寄与する将来のリーダーを育てる

ことを目的として開催されたものです。

サミットには、世界各国の高校生（29カ国、250名）による訪日団「若き津波防災大使」と国内の高校生が参加しました。

これに先立ち、11月23日と24日に東北と和歌山の2班に分かれ、それぞれの地元高校生とともに防災学習等に取り組みました。

和歌山班では、地元の高校生約80名とともに、県庁南別館の「県防災センター」で災害対策本部室や津波予測システムなどを視察するとともに本県の津波対策の状況を真剣な表情で聞き入っていました。

参加者から、「自分の国には、日本のような津波予測などのテクノロジーはないが、津波とは何か、何をすべきか伝えることはできる。」との意見がありました。

その夜には歓迎会が開催され、高校生達による文化紹介などを通じて、交流が深められました。

翌日には、湯浅町の県立耐久高校の生徒とともに、災害時の視界を想定した煙体験のほか、起震車での地震体験や消火訓練などに取り組みました。その後、「稲むらの火」のモデルとして知られる濱口梧陵について学ぶため、広川町の「広村堤防」や津波防災学習施設「稲むらの火の館」を視察し、耐久高校の生徒が英語で、堤防を築いた経過などについて説明しました。



県防災センター 災害対策本部視察



歓迎会の様子



稲むらの火の館視察

●知事がトップセールスのためマレーシアと中国を訪問！

県では、これまで日本国内にとどまらず、海外をターゲットにした県産品の販路拡大と観光客誘致に向け、職員が現地に出向きキーパーソンとの協議を重ねるなどして取り組んでいるところです。

そうした中、11月14日（月）から11月18日（金）の日程で、知事自らがマレーシア（クアラルンプール）及び中国（北京・山東省）を訪問し、トップセールスを行いました。

それぞれの国では、県内食品事業者や観光事業者とともに、日本食品輸入業者や旅行会社を訪問し、県産品の更なる取扱量の増加や販路拡大、また、観光客誘致のための旅行商品の造成など、より実効性のある交渉を行っ



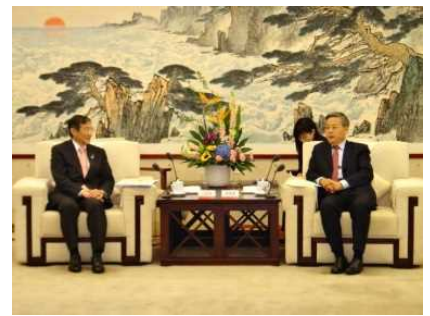
在マレーシア日本国大使公邸でのプロモーション

てきました。

中でも、マレーシアでは、在マレーシア日本国大使公邸の協力を得て、多くの関係者にお集まりいただき、本県のプロモーションを行ったところ、非常に盛況で手応えを感じるものでした。

中国では、国家旅游局の李局長との会談で、中国国内大手の旅行会社を紹介していただいたことに感謝の意を伝えるとともに、双方向での観光交流が大切であるとの認識のもと、中国が実施するプロモーションに県として協力することを伝えました。

また、山東省の郭省長との会談では、両県省の関係をさらに深化させるため、①環境交流（専門家派遣、研修団受入など）、②人的交流（職員相互派遣など）、③青少年交流（修学・教育旅行、山東省学生へのきのにロボットフェスティバルへの参加など）、④観光交流（相互ファムトリップの実施など）、について知事から提案し、郭省長から大いに賛同する意向が伝えられました。また、郭省長からは、このことに加え、高齢者政策についての情報交換、経済、文化分野での更なる交流について提案があり、今後、これらの分野についても双方向に交流を深化させていくことを確認しました。



山東省 郭省長との会談

全ての日程がとても有意義なものであり、手応えのある成果の多い訪問となりました。

●スイミング・カナダとの協定を締結しました

本県が有する最新のスポーツ施設の有効活用と、県民の皆さんに世界レベルを直に感じてもらうことでスポーツの振興を図り、さらに、交流人口の拡大や地域の活性化に資するため、国内外を問わずトップチームのキャンプ誘致に取り組んでいます。

その成果の一つとして、リオデジャネイロ五輪で若い選手を中心に6つのメダルを獲得した強豪国の一つである、カナダのナショナル競泳チームの秋葉山公園県民水泳場でのキャンプがあります。これは、同チームが2020年開催の東京五輪・パラリンピック及び2018年開催のパシフィック水泳選手権大会の事前キャンプを行おうというものです。

事前キャンプ地の選定にあたっては、同チームの強化責任者らが複数回にわたり視察を行い、プール施設や周辺環境などが評価されたことで決定に至ったものです。

そしてこの度、県と和歌山市及びスイミング・カナダ



正庁で行われた調印式の様子



三者での記念撮影

との三者間で正式に協定を締結することになりました。

11月8日、県庁で行った調印式後の記者会見で、スイミング・カナダCEOのアーメッド・エル・アワディ氏は、「多くの候補地の中で和歌山を最良と選んだ。素晴らしいトレーニング施設があり、選手にとって十分な休息も得られるところだ。」と県の練習環境を評価していただきました。

キャンプ期間中は、おもてなしの心で同チームのサポートを行っていきます。

●「わかやまでベンチャーin 大阪・東京」を開催します！

本県では、志高い新たな創業者や企業の新事業展開（第二創業）などを目指す新たな担い手を発掘・育成するために、今年度よりわかやまスタートアップ創出事業を開始しています。



8月31日には最終的なマッチングイベント「和歌山で創業しましょう」を行い、今年度は具体的に話がどんどん進んでいるところです。

そこで、来年に向けて、和歌山にいる人だけではなく都市圏に在住する創業希望者を発掘するために、大阪と東京でセミナーを開催します。

セミナーでは、先輩起業家の方から実体験を交えつつ和歌山県内での創業のメリットや県の支援策等をお話いただき、「それじゃあ、ちょっと考えてもいいかな」と思ってもらい、来年のオーディションに結びつけていきたいと思っています。

日程は、下記の通りですので、お知り合いの方などにお声がけください。

なお、下記アドレスで内容をご確認いただくこともできます。

アドレス <http://www.sougyo.wbs.co.jp/>

【大阪概要】

○日 時 平成28年12月10日（土） 14:00～17:30

○場 所 ナレッジキャピタルコングレコンベンションセンター（グランフロント大阪北館B2F）

【東京概要】

○日 時 平成29年1月21日（土） 14:00～17:30

○場 所 ベルサール東京日本橋5F（東京都中央区日本橋2丁目7-1）

●特別展『動き出す！絵画—モネ、ゴッホ、ピカソらと大正の若き洋画家たち』を開催中

本県では、規模の大きな展覧会を毎年開催するには費用面で無理がありますので、数年に一度は皆さんにすごいと思っていただけるように、少し予算を使い開催することとしています。

そして、今年はその年として、和歌山県立近代美術館において「特別展 動き出す！絵画—モネ、ゴッホ、ピカソらと大正の若き洋画家たち」を開催しています。

この特別展は、近年、和歌山では紹介できていなかったモネやゴッホなど印象派を中心とした西洋近代美術の作家と、岸田劉生、萬鉄五郎ら大正時代を代表する日本の作家の作品約170点を展示しています。

また、和歌山市出身の北山清太郎（1888-1945）を基軸に構成されています。北山清太郎は、美術雑誌『現代の洋画』を出版して西洋の美術を盛んに紹介するとともに、岸田劉生や木村荘八ら、若い洋画家たちの活動を、展覧会の開催やカタログの出版などを通して献身的に支えた人物で、ゴッホらを支援した画材商のペール・タンギーになぞらえて、「ペール北山」と呼ばれました。

今回の展覧会では、北山氏の活動を手がかりに、大正期の日本を熱狂させた西洋美術と、それに影響を受けながら展開した近代日本の美術を同時に紹介することを試みています。

期間中は、関連事業として、講演会やコンサート、学芸員による展示解説なども予定しています。

見応えのあるすばらしい特別展となっていますので、ぜひこの機会にご鑑賞ください。詳しくは、下記アドレスでご確認いただくことができます。

開催期間：2016年11月19日（土）～2017年1月15日（日）

アドレス：<http://www.momaw.jp/>



●「知って、肝炎プロジェクト」スペシャルサポーター瀬川瑛子氏が知事を表敬訪問

厚生労働省「肝炎総合対策推進国民運動事業」の啓発活動の一環として、「知って、肝炎プロジェクト」のスペシャルサポーターである瀬川瑛子さんが知事を訪問し、肝炎ウイルス検査受検の必要性や肝炎の早期発見・早期治療の重要性を訴え、肝炎対策推進について、協力の呼びかけを行いました。



瀬川瑛子さんと

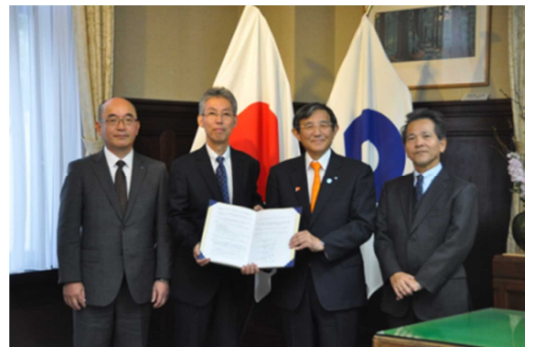
同事業は、厚生労働省が平成25年度から始めたもので、肝炎に関する知識や肝炎ウイルス検査の必要性を分かりやすく伝え、あらゆる国民が肝炎への正しい知識を持ち、早期発見・早期治療に向けて自ら積極的に行動していくことを目的としています。

11月9日、来庁された瀬川瑛子さんは「県内の人全員が肝炎ウイルスの検査を受け健康を維持してもらいたい。自分の命は自分で守るという意識を持って、早めに受検してほしい」と話されました。

県内の肝がん死亡者は、毎年300人台で推移しており、人口10万人あたりの死亡率は、全国で10位となっています。肝炎ウイルス検査は、県内の保健所や協力医療機関で無料で受けられますので、県としても、受検率を上げるための啓発を強く推進していきます。

●県と県内2信用金庫および信金中央金庫との観光・産業振興等に関する連携協定を締結しました

本県では、これまで、様々な施策を講じて観光での誘客を行ってきました。中でも、数年前からは、県内の信用金庫の協力を得て、県外所在の信用金庫主催の年金旅行誘致にも取り組んできました。おかげで、今は、毎年沢山の方々に和歌山県にお越しいただいています。



そして、このことに注目された信金中央金庫から、「全国規模で協力しましょう」という話があり、この度、「新宮信用金庫」と「きのくに信用金庫」及び「信金中央金庫」と連携協定を結ぶこととなりました。

11月8日、新宮信用金庫から浦木睦雄理事長、きのくに信用金庫から田谷節朗理事長、信金中央金庫から柴田弘之副理事長の出席のもと、調印式を開催しました。

連携協定については、まずは観光誘客に関することが一番ですが、他にも県内企業の事業支援に関することなど多岐にわたっています。

調印後、田谷理事長は「信用金庫のセントラルバンクである信金中央金庫を加え、よりパワーアップした活動ができる。ふるさと和歌山が発展できるようにがんばりたい」と述べられました。

今後は協定に基づき、具体的な施策を協力しながら展開していきます。

●「不幸な猫をなくすプロジェクト」実施中 不妊去勢手術費用の助成を全国初で実施！

本県のみならず、全国的に猫に関する苦情が数多く寄せられています。

その原因のひとつに、飼い猫をきちんと飼わないことが挙げられます。また、野良猫に餌を野放図に与えていることもそのひとつです。

苦情により駆除された野良猫は、保健所に引き取られ、新たな飼い主等が見つからない場合は、殺処分することになってしまいます。これではいけません。

殺処分をゼロにしたい、そのためには構造自体を直さなければなりません。

そこで、猫の飼い主や地域住民の方に一定のルールを守っていただくことなど具体的な取組を条例できちんと規定しました。

このルールの施行は、周知期間が必要ということで来年4月からとしています。すぐに取り組めるものについては、本年度から実施することとしています。そのひとつが、不妊去勢手術費用の助成です。これは、全国初の取組です。

また、これ以外にも、引き取られた猫を譲渡促進のためのボランティア制度を創設など「不幸な猫をなくすプロジェクト」として実施中です。

このプロジェクトを県民の皆様幅広く知っていただき、野良猫による問題解決の一手段として取り組んでいただけるように、「地域猫対策ガイドブック」等を作成し、住民説明会等でその周知に努めています。

さらに、「地域猫対策」を行っている（行いたい）ボランティアの方や興味のある方だけでなく、自治会や野良猫に困っている方も対象としたセミナーも開催しているところです。

こうした取組を通して、人と猫が共生して潤いのある社会が早期に実現できるようにしたいと思っています。

●東海和歌山県人会が「ふるさと訪問旅行」を実施

東海和歌山県人会では、11月11日から12日にかけて「ふるさと訪問旅行～戦国武将ゆかりの地 再発見ツアー～」と題して、和歌山県を訪れました。

ふるさと訪問旅行には、山口会長をはじめ、43名の方が参加されました。1日目は、真田幸村ゆかりの地九度山町を訪れ、真田庵と真田ミュージアムを見学した後、県庁へ移動し、県議会の議場の見学を行いました。2日目は、和歌山市内で和歌山城、わかやま歴史館を見学した後、岩出市へ移動し、旧県議会議事堂と根来寺の見学を行いました。

和歌山城や根来寺など昔ながらの良さは残しつつ、旧県議会議事堂の移築公開やNHK大河ドラマを契機として町をあげて取り組む九度山町など新たなことにも積極的に取り組んでいるふるさと和歌山を肌で感じていただきました。



県議会議場見学の様子

●ふるさと和歌山応援寄附(ふるさと納税)の案内

より簡単な手続で御寄附いただけるよう、ふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」(<http://www.furusato-tax.jp/>)からも寄附の申込みが行えるようになっていきます。クレジットカードによる寄附の場合は、申込みとクレジットカード決済の手続が「ふるさとチョイス」のサイト上で同時に行えます。



12月末までに御寄附をいただきますと、所得税については平成28年の税額から控除され、住民税については平成29年の税額から控除されますが、1月以降に御寄附をいただいた場合の寄附金控除は、所得税については平成29年の税額から、住民税については平成30年の税額からの控除となりますので、是非お早めにお申し込みください。

○寄附金控除のしくみ (例)

寄附金10,000円の場合		
所得税 約800円	住民税 約7,200円	適用下限額 約2,000円
← 控除額合計約8,000円 →		

全額控除される寄附金額の目安

自己負担額 2,000円を超える金額が全額控除される寄附金額の目安は右表のとおりです。

【注意】

下の表はあくまでも目安としてお考えください。

単身者の場合

給与収入	寄附金額目安
300万円	31,000円
400万円	46,000円
500万円	67,000円
600万円	84,000円
700万円	118,000円
800万円	141,000円
900万円	164,000円
1,000万円	188,000円
1,500万円	394,000円
2,000万円	572,000円

夫婦、子 2人の場合

給与収入	寄附金額目安
300万円	4,000円
400万円	17,000円
500万円	33,000円
600万円	53,000円
700万円	75,000円
800万円	109,000円
900万円	132,000円
1,000万円	157,000円
1,500万円	355,000円
2,000万円	532,000円

また、県では、1万円以上の御寄附をいただいた方には、お礼の品をお送りしています。お礼の品は、プレミアム和歌山の事業者から特別価格で御提供いただいた梅干しや菓子類、飲料など、次ページ以降に掲載の38品目の中から2品をお選びいただけます。

お礼の品の中には市場価格が5千円を超えるものもありますので、例えば、1万円の御寄附をいただいた場合、寄附額の1万円を超える商品を選ぶことができます。

ですので、大変お得にふるさと和歌山を味わっていただくことができます。

是非この機会にふるさと和歌山応援寄附により、和歌山県が誇る優良産品(プレミアム和歌山)を御堪能いただくとともに、引き続き和歌山県を応援していただきますよう、よろしくお願いいたします。

2品お選びいただけます！

お礼の品一覧

1  紀州五代梅の夢想 五代梅・こんぶ梅 各5粒 一番人気の五代梅の大粒個包装とこんぶ梅の個包装 計10粒です。木箱に入ったギフトの最適商品です。 【(株)東農園】	2  幸いろいろ 幸梅漬・しそかつお梅 各400g 人気の幸梅漬としそかつお梅(南高梅)のセットです。 幸梅漬ははちみつ入りのうす塩風味で「池本」秘伝の美味しさです。 しそかつお梅はしそかつおぶしであっさりともろやかな仕立てです。 【(株)池本商店】	3  熊野古道を訪ねて はちみつ味(塩分約8%) 500g 紀州産の南高梅を国産蜂蜜で漬け込みました。梅の酸味と蜂蜜の甘さが絶妙です。 【(株)いなみの里梅園】
4  紀州五十五万石木箱 550g 木箱入り 当社独自の製法で、こんぶのお出汁で丹念にまろやかな味わいに仕上げた逸品です。 【河本食品(株)】	5  みなベセット 福寿梅250g・永遠250g 梅黒酢290ml 紀州南高梅のA級品を使用し当社人気NO.1のふくじゅ梅250g、はちみつで漬け込んだ永遠250g。黒酢に自社農園で収穫した南高梅を漬け込んだ梅黒酢は水で3～5倍に薄めて飲んでください。 【(株)紀州本庄うめよし】	6  紀州の逸品 百花一粒 まろの梅 500g なんこうめジャム 200g×2本 紀州産南高梅を塩分7%のうす塩味に仕上げたあまずっぱい梅干と黄色く熟した南高梅をたっぷり使い、風味豊かに仕上げた梅ジャムのセットです。 【紀南農業協同組合】
7  紀州南高梅 夢葵 彩の舞 はちみつ梅(塩分約8%)・しそ漬梅(塩分約14%)昆布包み梅(塩分約8%)・桜葉包み梅(塩分約8%) 各4粒 紀州南高梅を使用し、こだわりの4つの味わいの梅干しに仕上げました。甘さ・しよっぱさ・香り・旨味・食感・色彩等多彩な梅の味わいをお楽しみください。 【(株)紀和農園プロダクツ】	8  はちみつ仕立て「極」 大粒(4L)の梅干し 12粒 1粒1粒心をこめて包まれた大粒の梅干は、すっぱさを抑えたまろやかな味。ジューシーな梅の果肉とはちみつの甘さが互いを引き立てます。 【(株)勝徳梅】	9  紀州みなべ南高梅 雪どけ 800g(塩分8%) 環境にやさしい農法に取り組み、完熟南高梅を使用し製造から販売にいたるまで自社で行い、安心・安全な商品作りを行っております。雪どけは、甘口で食べやすく、お子様からご年配の方まで幅広く愛されており、ギフト商品としても大変喜ばれております。 【ふたばの梅干】

10  紀州南高梅 不動の梅 梅干し(うす塩味) 850g 紀州南高梅の中でも、大粒で特に良質な梅干のみを使用し、当店一番人気の「うす塩」に仕上げました。梅干本来の味わいと程よい甘みで、創業以来、幅広い世代の皆さまに支持されています。この機会にぜひご賞味ください。 【(株)不動農園】	11  自慢の梅干 2種 白龍梅(塩分約12%) 和み梅(塩分約5%) 各430g 自家梅園産南高梅を大切に育て漬け込みました。白龍梅は、梅本来の味が生きた上品なうす塩の梅干。ご飯によく合います。和み梅は、蜂蜜をたっぷり使ったかなり甘口の梅干。お茶漬けにもピッタリです。どちらも特大粒の果肉まで柔らかい梅の実です。 【横山食品(株)】	12  100%ピュアジュース 180ml入 みかん4本、きよみ・はっさく各3本和歌山県産無添加ストレートジュース。味が濃く、のどごしスッキリ。3種ともモンドセレクション受賞。世界が認めた味をぜひご賞味ください。 【(株)伊藤農園】
13  大師の水 500ml 24本 この「大師の水」は世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」として名高い高野山のふもとで汲み上げた綺麗な水です。「大師の水」は軟水(硬度41mg/L)で、日本茶、紅茶、珈琲、ウイスキーの水割りに好相性です。 【紀州紀文会(有)】	14  なかよし 柚香ちゃん 柚香ちゃん 160ml 10本 はちみつ柚香ちゃん160ml 10本 すっきりタイプのストレートドリンク「柚香ちゃん」とはちみつ入りの甘い「はちみつ柚香ちゃん」を詰合せました。 【農事組合法人 古座川ゆず平井の里】	15  味一しぼり詰め合わせ 味一しぼり720ml・黄金ジャム300g 味一ジュレ150g 2本 糖度12度以上に仕上げた、100%有田みかんジュース「味一しぼり」と、一度食べたら癖になる濃厚みかんゼリー「味一ジュレ」、さらになめらかな舌触りのジャム「黄金ジャム」3品セットです。早和果樹園自慢の詰め合わせです。 【(株)早和果樹園】
16  Wakayama Ginger Ale アソートセット 生姜丸しぼり Wakayama Ginger Ale 梅ひと雫 Wakayama Ginger Ale 各6本 化粧箱入 和歌山ご当地ジュースWakayama Ginger Aleです。2種類の味を楽しめる贅沢なアソートセットです。 【わかやま農業協同組合】	17  生姜ちっぶす詰合せ 50g 6袋 全国でも有数の生産量を誇る和歌山産の生姜。そのなかから厳選された生姜を、一枚ずつ丁寧に手作業で造りあげた逸品です。 【カフェモコ】	18  天狗力餅 20個 表千家の茶会にも使われた銘品「天狗力餅」は、北海道十勝産小豆を使った濃しあんを、求肥餅でつつんでいます。ふ焼き煎餅で挟んでお召し上がりください。 【菓匠 錦花堂】

19  くろさわ牧場のアイスクリーム ミルク 90ml 8個 和歌山の海をのぞむ高原で、1年中のびのびと放牧で牛を飼育している黒沢牧場。日本ではとても珍しい「周年放牧」のHAPPYな牛たちの搾りたて生乳を使ってアイスクリームを牧場内で一つひとつ手づくりしています。 【農事組合法人 黒沢牧場】	20  まるごと田村みかんゼリーセット 94g 12個 和歌山県有田地域のブランドみかん「田村みかん」を使ったゼリーです。やわらかな弾力の果肉はジューシーで、豊かな甘みが特徴です。 【(株)小南農園】	21  紀州銘菓かげろう・柚もなかセット かげろう20個・柚もなか21個 口に入れた瞬間ほろりと溶ける優しい銘菓「かげろう」と、自然の風味を損なわぬように伝統の技法で炊き上げた柚あんが特徴の「柚もなか」は数々の賞を受賞し紀州銘菓としてご愛顧頂いております。 【(株)福菱】
22  フルーツコンポートセット コンポート丸ごと温州みかん350g コンポート房ごとほっさく350g わかやまポンチ140g 和歌山県産のフルーツを使用し、甘すぎないジュレでコンポートに仕上げました。フルーツの自然な甘みと味わいをお楽しみいただけます。 【(株)ふみに農園】	23  柚梅(ゆうばい)セット 古城梅10ヶ・むろの柚10ヶ 紀州特産の梅・柚子を形どった一口羊羹です。古城梅には天然しそ・梅肉、むろの柚子には天然ゆずを入れています。文左の郷土菓子は種々の材料が良く調和を保ちながらかもし出すほのぼのとした、手作りならではの味です。 【文左】	24  本竹皮包み羊羹セット 塩羊羹・柚子羊羹 各1本 紅葉屋本舗の羊羹は「美味しい」「安全」「安心」「自然」を貫き、添加物は一切使用せず厳選された素材だけを使用し、一本一本職人の手で真心込めて丁寧に作り上げております。外はパリッと中はしっとり昔ながらの羊羹2本セットです。 【紅葉屋本舗】
25  銀鱈の輝 詰合せセット 釜揚げしらす260g ちりめん山椒240g 化粧箱入り 新鮮で良質なしらすを新鮮なまま、高温の厚釜で躍らせるように釜揚げした「釜揚げしらす」。「ちりめん山椒」は、有田川町清水産のぶどう山椒と湯浅の香り高い豊かな醤油を使用。丹精込めて丁寧に炊き上げ、甘さを控えた上品な一品に仕上げました。 【まるとも海産】	26  紀州名産 なんば焼 300g 3枚 化粧箱入り 紀州では江戸時代から南蛮国より伝わる焼き蒲鉾です。近海で獲れた魚を主原料に、「すり身」にして昔ながらの製法で丹念に焼き上げており、身は白く弾力があり、加えて魚の素材を生かしたまろやかな味が格別です。 【西山蒲鉾店】	27  鯨大和煮セット 200g 3個 太地港で水揚げされた近海産の鯨を使用し、甘辛く昔ながらの味わいに仕上げました。 【(有)カネヨシ由谷水産】

28  紀州勝浦まぐろCAN(マグロ 経済学シリーズ) まぐろ水煮90g 3缶 まぐろオイル漬け 90g 2缶 まぐろオイル漬け 180g 3缶 まぐろの町、那智勝浦発！！紀州勝浦産生まぐろ(ピンナガマグロ)を使用し、新鮮なままで身をさばいて缶詰にすることで独自の食感と味わいのある缶詰が出来ました。 【勝浦漁業協同組合】	29  紀州あせ葉寿司 鯖14個 紀州には全国に名産と知られる「南高梅」があります。その味わい、まろやかな南高梅を使用し、また魚は近海ものを厳選し艶やかに炊き上げた寿司飯をあせの葉(イネ科の植物)で一つ一つ丁寧に手包みました。 【(株)笹一】	30  イノブタ ハム・ウィンナーセット チョリソウィンナー・あらびきウィンナー・モモハム・ホワイトウィンナー 各1個 イノブタ「イブの恵み」と自社農場で生産した新たなイノブタ「イブ美豚」の食べ比べセットです。 【(株)イブファーム】	31  和歌山 丸高中華そば 丸高中華そば3食入 2個 4食入 1個 昭和15年、先代が和歌山市高松で始めた屋台店が発祥。コクがあるのに、さっぱりとした味に仕上げました。 【(有)柏木製麺所】
32  金山寺味噌 330g折入り 2個 450gタル入り 1個 和歌山県に古くから伝承されてきた、米、はだか麦、大豆、白瓜、茄子、生姜、しそを混合した、野菜たっぷりな「そのまま食べるお味噌」です。 【川善味噌(株)】	33  昔造り紀州金山寺味噌 600g 2個 純国産の精選した米、大麦、大豆を赤穂のにがり塩で仕込み、明治39年の創業以来変わらぬ製法でうりなす・生姜・しそとともに半年間熟成しました。 【(株)やまだ】	34  湯浅醤油詰合せ 手作り醤油生醤油濁り醬 720ml 1本 浅たまり900ml 1本 歴史的な背景を忠実に再現した本醸造生醤油濁り醬720mlと松材の薪で火入れた手づくり醤油900mlとの真正銘手づくり湯浅醤油2本セット詰合せです。 【(株)角長】	35  熊野の塩セット 黒潮・梅塩・ゆず塩 各2個 炭塩 1個 南紀熊野灘の海水を汲み上げ、釜で煮詰めて天日干しで仕上げた本格的な手づくり塩です。色々な味をご賞味下さい。 【熊野黒潮本舗】
36  大吟醸「熊楠」 720ml 創業者の息子である南方熊楠を記念して製造しました。ふくよかな味と香りをお楽しみください。 【(株)世界一統】	37  純米吟醸「紀伊国屋文左衛門」 1.8L 化粧箱入り 「山田錦」と「雄町」を丹念に醸し、穏やかな吟醸香と、やわらかにふくらむ米の旨味、キレのある飲み口が特徴です。 【中野BC(株)】	38  有田みかんスパークリングワインセット みかんシュワッ酒330ml 6本 みかんの本格スパークリングワインです。有田で育った美味しいみかんを原料に酵母菌で大切に育てたワインをベースにスパークリングに仕上げました。アルコール度数も6%と飲みやすく、ポンッと開けてそのままお飲み頂ける可愛い小瓶も魅力です。 【花野食品】	

★お問い合わせ・申込窓口★

〒640-8585

和歌山市小松原通一丁目1番地

総務部総務管理局税務課

担当 西岡、嶋村、岡田

電話 073-441-2186(直通)

FAX 073-423-1192

E-mail: furusato-ouen@pref.wakayama.lg.jp

☆お問い合わせ窓口☆

〒102-0093

東京都千代田区平河町2-6-3

都道府県会館12階

和歌山県東京事務所

担当 宮脇

電話 03-5212-9057

FAX 03-5212-9059

イベント情報(12月11日～1月10日)

期間	行事名	場所	問い合わせ先
12/11 12/18	サンタが大水槽にやってくる	海南市・県立自然博物館	県立自然博物館 073-483-1777
/	クジラの巨大模型清掃	太地町・くじらの博物館	くじらの博物館 0735-59-2400
12/18	しまい観音	和歌山市・紀三井寺	紀三井寺 073-444-1002
12/18	きのくに ロボットフェスティバル	御坊市・市立体育館	きのくにロボットフェスティバル 実行委員会 0738-22-1008
12/31	時鐘堂の鐘つき	和歌山市・岡山	和歌山市観光協会 073-433-8118
12/31	たいまつ押し	かつらぎ町・下花園神社	かつらぎ町教育委員会 0736-22-0303
1/1	藤白の獅子舞	海南市・藤白神社	藤白神社 073-482-1123
1/3 1/4	初詣初笑い神事	日高川町・丹生神社	日高川町観光協会 0738-22-2041
1/3	お弓神事	日高川町・下阿田木神社	日高川町観光協会 0738-22-2041
1/1 1/2	書き初め大会	海南市・春日神社	春日神社 073-483-7547
1/2		和歌山市・和歌浦天満宮	和歌浦天満宮 073-444-4769
1/5	地主神社の粥占い	上富田町・地主神社	上富田町観光協会 0739-47-0550
1/8	七草粥まつり	紀の川市・青洲の里	青洲の里 0736-75-6008



たいまつ押し

平安時代からとされる「花園の恩田の舞」(2月予定)の鬼定め(役決め)完了の祝と共に一年の厄落とし、翌年の豊作を祈願する火祭りのひとつで、毎年、大晦日の夜21時から23時頃まで下花園神社境内(梁瀬小学校運動場)で行われています。

自然・風物情報(12月中旬～1月上旬)

時期	自然・風物名	場所	問い合わせ先
12月中旬	熊野本宮大社 大しめ縄張り替え	田辺市・熊野本宮大社	熊野本宮大社 0735-42-0009
12月中旬	ポンカン狩り始まる	串本町・四季彩園	串本町観光協会 0735-62-3171
12月中旬	ウツボ天日干し	紀南地方沿岸部	和歌山南漁協協同組合 0739-55-2002
12月中旬	クリスマス用イチゴ 出荷ピーク	紀の川市・貴志川町	J A 紀の里 0736-77-5666
12月下旬	那智の滝ライトアップ 大しめ縄張り替え	那智勝浦町・那智の滝	熊野那智大社 0735-55-0321
12月下旬	和歌山城のしめ縄飾り	和歌山市・和歌山城	和歌山城整備企画課 073-435-1044
1月上旬	初泳ぎ	田辺市・ 田辺扇が浜海水浴場	田辺観光協会 0739-26-9929
1月上旬	キンカン収穫始まる	串本町・大島	J A 紀南 0739-23-3450



食の安全・安心にどこまでもこだわり、栽培期間中消毒せずに除草剤も一切使用しておらず独自の有機堆肥を使用しています。濃厚・風味豊かでコクのある四季彩園のポンカンです。

プレミアム和歌山に選ばれています。

～編集後記～

年末に向け、寒い日が続いています。先月の後半には、東京で50数年ぶりとなる積雪を観測するなど、本当に秋が短くなったなあと感じています。

さて、今年1年を振り返ってみますと、郷土に誇りと自信を持った素晴らしい一年となりました。

世界遺産の追加登録をはじめ、「鯨とともに生きる」の日本遺産認定、赤ちゃんパンダの誕生、そして、紀の国わかやま国体で大いに活躍した本県代表選手のリオデジャネイロオリンピックでのメダル獲得など、県民に大きな感動と喜びを与えてくれました。

また、高視聴率で推移していますNHK大河ドラマ「真田丸」、さらには新たな視点で取り組んでいます「水の国、わかやま。」キャンペーンなどにより、昨年を引き続き、国内外から多くの方々にご来県いただきました。

新しい年も、こうした流れをとどめることなく、皆様から「和歌山はよくなったなあ」と思っただけのように、知恵を絞る職員一丸となって頑張っていまいりますので、引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。

今年も「和歌山だより」を御愛読いただき、誠にありがとうございました。

これから寒さが増してまいりますので、お体に気をつけていただき、元気に新年を迎えられますことを祈念申し上げます。

知事室秘書課長 中村 一人

★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんでいただけますので是非御覧ください。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせください。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供ください。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。

(下記のFAX(様式自由)、E-Mail等でお願ひします。)

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/>

*個人情報につきましては、「和歌山だより」
の発行以外の目的には、使用いたしません。



2016年(平成28年)12月 NO.104
和歌山県 秘書課
〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1
TEL 073-441-2022